

## HRガイド

# 大介護時代の従業員支援策

～安心して働き続けてもらうための準備とは～

ピースマインド・イーブ株式会社

### ■ 少子化に先駆けて迫る高齢化の危機

通常、人事部門が意識している「少子高齢化問題」とは、将来的な採用の困難さや人員構成の歪みへの影響が中心だ。しかし、「従業員の家族」まで視野を広げて考えたとき、今、足下に放置されている危機の存在に「はっ」とさせられるのではないか。家族の介護の理由で「働けない」「辞めるしかない」「誰にも言えず苦しい」「不安で仕事に集中できない」等、パフォーマンス発揮、モチベーション維持、働きやすさの環境整備の面で相当の課題が置き去りにされているケースは多い。働き盛りや熟練人材が持てる能力を発揮できず、さらには、ひっそりと職場を去るような事態を招いては企業活動にとっても大きな損失になる。個人的な問題とのバランスをどう考えるか、会社からは何を留意して、どこまで支援できるのか、どうすれば安心して働き続けてもらえるのか、また、社内制度の見直し、社内へのアナウンス、外部機関の活用の方角性などについて、相談実績豊富な専門機関の知見をもとに整理とアドバイスをいただいた。(編集部)

### CONTENTS

#### 第1章：大介護時代の社会的背景と現状

1. 介護離職を防ぐ施策の必要性の高まり
2. 介護離職の現状

#### 第2章：介護に関する公的制度と人事施策の具体例

1. 育児介護休業法に定める介護休業の法的要件
2. 公的制度に則った企業の人事施策例
  - (1) 介護休業日数について
  - (2) 介護休業の対象家族について
  - (3) 分割取得について
  - (4) 介護休暇の利用条件
  - (5) 短時間勤務制度
  - (6) 年次休暇の時間付与
  - (7) 終業時刻の繰り上げ繰り下げ
  - (8) フレックスタイム制
  - (9) 金曜日のノー残業デー

#### 第3章：従業員が活用できる介護の相談窓口と有効な利用法

1. 管理者（上司、人事）が窓口
2. ケアマネジャーが窓口
3. 外部機関の相談窓口

#### 第4章：仕事と介護の両立に向けて～実際の相談事例から～

- 事例1：両親が突然要介護状態になり、……  
事例2：家族や兄弟の協力を得ることが難しく、……  
事例3：妻が難病に罹患し症状が次第に悪化して……  
ポイント：仕事と介護の両立のためには？

#### 第5章：海外の介護支援の実情と事例

～米国の従業員支援プログラムより～

1. 米国の従業員支援 ～1990年代
2. 従業員への介護支援のニーズに関するデータ
3. ワークライフサービス
4. 介護に関する従業員セミナー
5. 米国の優良企業事例

#### 第6章：介護従業員対応準備度チェックリスト

### ■ ピースマインド・イーブ株式会社

心理・行動科学の専門家による人と組織マネジメントのコンサルティングを行う専門企業。社員と組織の生産性向上をサポートするEAP（従業員支援プログラム）を中心に、約560社を超える国内・グローバル企業にサービスを提供中。

●本社：〒104-0061 東京都中央区銀座3-10-6 マルイト銀座第3ビル 8F

●TEL 03-3541-8660 ●URL <http://www.peacemind-jeap.co.jp/>